

# Film Festa

- 日本語字幕付き映画上映会 -

ねりまフォーラム 2023 男女共同参画の集い

© 2020 映画「his」製作委員会



令和5年10月21日(土) 練馬区立関区民ホール

令和5年11月18日(土) 練馬区立生涯学習センター

主催 練馬区 / 企画・運営 ねりまフォーラム実行委員会

ご来場いただき誠にありがとうございます。

ねりまフォーラムは、公募区民等で構成しているねりまフォーラム実行委員会が企画・運営を行い、開催しています。男女共同参画について考えていただく機会として、映画上映会を企画しました。

人は属性によらず、それぞれ色々な価値観を持っています。価値観や考え方は、それぞれの異なる経験や知識、置かれている状況から出来ています。そうして形成された価値観や考え方というフィルターを通してあるので、人はそれぞれ世界の見え方が違うのです。そのため、価値観には正解はありません。誰かと自分の価値観や考えがぶつかっても、どちらかが悪いわけではないのです。

アンコンシャスバイアスとは、無意識のうちに身に着いた偏見や思い込みのことです。他人に対する思い込みだけではなく、自分に対する思い込みもあります。実は、これも誰もがもつ自然なことであり、持つこと自体が悪いわけではありません。しかし、その思い込みや偏見を配慮無く周囲の人に向けてしまうことで、相手を傷つけてしまう場合があります。

男性は であるべき。女性は であるべき。男女、夫婦は、 であるべき。

自分の「べき」と、人の「べき」は、違います。

自分と違う価値観や考え方を受け入れる必要はありません。ただ、違う考え方を持った相手を尊重し、受けとめてみる。この上映会がそのようなきっかけになれば幸いです。

(ねりまフォーラム実行委員会)

## 『his』

配給:ファントム・フィルム

### 社会からどう見られようとも 僕たちは 一緒に生きていきたい

#### STORY

春休みに江の島を訪れた男子高校生・井川迅と、湘南で高校に通う日比野渚。二人の間に芽生えた友情は、やがて愛へと発展し、お互いの気持ちを確かめ合っていく。しかし、迅の大学卒業を控えた頃、渚は「一緒にいても将来が見えない」と突如別れを告げる。

出会いから13年後、迅は周囲にゲイだと知られることを恐れ、ひっそりと一人で田舎暮らしを送っていた。そこに、6歳の娘・空を連れた渚が突然現れる。「しばらくの間、居候させて欲しい」と言う渚に戸惑いを隠せない迅だったが、いつしか空も懐き、周囲の人々も三人を受け入れていく。そんな中、渚は妻・玲奈との間で離婚と親権の協議をしていることを迅に打ち明ける。ある日、玲奈が空を東京に連れて戻してしまう。落ち込む渚に対して、迅は「渚と空ちゃんと三人で一緒に暮らしたい」と気持ちを伝える。しかし、離婚調停が進んでいく中で、迅たちは、玲奈の弁護士や裁判官から心ない言葉を浴びせられ、自分たちを取り巻く環境に改めて向き合うことになっていく。



© 2020 映画「his」製作委員会



© 2020 映画「his」製作委員会

# 『his』の中でここに注目！

## 家族のカタチ（家族構成、血縁関係、役割分担）

ゲイのカップルが子どもを育てること。  
血が繋がっていない人と暮らすこと。  
お父さんお母さんが一緒にいないこと。  
これって「普通」じゃない？

渚と迅と暮らす空ちゃんは、集落の人々にも見守られ、  
のびのびと楽しそうに感じませんか？



© 2020 映画 「his」 製作委員会

## 男は仕事、女は家庭？（キャリア、育児、経済的支柱）



© 2020 映画 「his」 製作委員会

仕事を持たず、家事・子育てを担当した渚は、空ちゃんと  
幸せそう。片手で卵を割れるパパを、空ちゃんも大好き。

一方、離婚裁判において、玲奈は子育てを夫に任せきり  
の「ダメな母親」のように弁護士に問い詰められます。  
女性は子どもを優先するべきなのでしょうか？

夫と別れた今、愛する子どもとは一緒にいたい。  
でも、たった一人で仕事も子育てもこなすのは難しい。  
玲奈はどのように乗り越えていくのでしょうか？

## 性的多様性（恋愛、結婚、セクシュアリティ）

社会的に一人前になるには、結婚して子どもを作る  
ことが必要？

愛する渚に去られ、職場の先輩・同僚の無自覚な  
言葉に傷ついた迅は、人との関わりを断つように静  
かな土地に移り住みますが、生きづらさは解消され  
るのでしょうか。

空ちゃんは尋ねます。「パパは迅くんが好き。迅くん  
はパパが好き。なのにどうしてキスしちゃいけない  
の？」



© 2020 映画 「his」 製作委員会

# 『his』を観て思うこと すべての人が輝くために一今、できることー

## 家族のカタチ（家族構成、血縁関係、役割分担）

「親が同性カップル」、「血が繋がっていない」、「離れて住んでいる」  
「普通」じゃなくても、「家族」には様々なカタチがあるのではないのでしょうか。  
どんなカタチでも、大切なのは、お互いを思いやる気持ちかもしれません。

「普通」という「自分自身のものさし」見直してみませんか？

## 男は仕事、女は家庭？（キャリア、育児、経済的支柱）

仕事、家事、子育て、誰がどのくらい担うのがいいのでしょうか。  
それぞれの家族に合った分担を、家族の中で話し合ってみませんか？

今の時代、一人で子育てをしている親は決して少なくありません。仕事と家事・子育ての両立はなかなか難しいもの。苦しいときは、ひとりで抱え込まず、周囲を頼ってみましょう。  
いろいろな情報がある自治体に相談するのもお勧めです。

## 性的多様性（恋愛、結婚、セクシュアリティ）

LGBTの方は、セクシュアリティを隠して生活している方が多いため、身近にはいないと思われがちですが、最近の調査では、人口の5～10%が該当するそうです。日本国内の血液型AB型の方が10%ですから、ごく身近な存在とも言えます。

「LGBTは普通とは違う」という無意識の差別による心無い言動が、あなたの周りの誰かを追いつめているかもしれません。死に至る場合もあるのです。

## みんなの意識が変われば社会が変わるー

映画で井川迅役を演じた宮沢氷魚さんは、インタビューでこう述べています。  
「自分の周りにもいろんな感じ方の人っていて、自分らしい生き方を選びたいと考えている人もいます。そういう人たちに思いをはせるきっかけにこの映画がなれたらうれしいです。」

まずはこんなことから  
始めてみませんか？

それぞれのご家庭での家事分担を考えてみる。  
それぞれの立場になって考えてみる。  
友達と感じたことについて話してみる。  
自分の気持ちに素直になる。

多様な人々が互いに認め合い、それぞれの希望に沿った生き方を選択できる、  
そんな社会を目指していきましょう。